

## ■ 編集後記 ■

少し遅れましたが第 18 号をお届けします。

今回は再査読などがあったため少し余分に時間がかかってしまいました。今後は編集の進め方をもう少し工夫したいと思います。

さて、18 号には論文 9 編、報告 2 件、プロジェクト活動報告 2 件、エッセイ 1 件、修論と博論要旨が各 1 件、書評 3 件と、前号よりも多い投稿がありました。論文は採録が 4 件、不採録 1 件、査読後の辞退が 3 件、研究ノートへのカテゴリー変更が 1 件という結果でした。採録された論文の中には今後さまざまな形で参照され、言及されるような **seminal** な論文も含まれています。既存の研究を深め拡大する研究も大事ですが、このような新しい理論的地平を切り拓くような研究も期待されるところです。

今回特に痛感したのは、論文のテーマの多様性に加えて研究手法（方法）も多様化し、評価のバランスを取るのが難しいという点でした。これは通訳翻訳研究が集学的分野であるために、ある程度やむをえないことかもしれませんが、何とか解決を図っていければと思います。

最後に研究・教務・実践でお忙しいにもかかわらず、面倒な査読の作業を快く引き受けて下さった会員の方々にお礼申し上げます。

次号 19 号の投稿の締切は 2018 年 4 月 1 日です。発行は 2018 年 6 月初旬を予定しています。なお投稿は随時受け付けています。力のこもった論考を期待しています。

2017 年 12 月 20 日

『通訳翻訳研究への招待』編集委員会